

はしもと

〈病院理念〉

地域に根づいた患者様に信頼される病院づくり

〈基本方針〉

～心のかよう病院を目指して～

患者様のため、まごころの医療を目指します
地域の皆様から信頼される病院づくりに努めます
常に新しく良質な医療ができるように心がけます
皆様の健康増進、疾病予防のお役に立ちたいと願っております

〈病院運営のコンセプト〉

1. 気づきの医療
2. わかりやすさ



回復期リハビリテーション病棟

理学療法士とは、寝返る・起き上がる・座る・立つ・歩く等の基本動作、移動動作能力の改善と再獲得を目標に、筋力増強練習・歩行練習・バランス練習などを行うリハビリテーション専門職です。

当院には59名の理学療法士が在籍し、各病棟に配属されています。患者様の日常生活内での動作を評価・確認し、どのような力をつければ在宅復帰・社会復帰が可能になるかを、個別に一緒に検討させていただいております。

また、ご自宅内の環境調整のご相談やご家族様への介助方法の指導もさせていただきます。



当院では「入院生活そのものがリハビリテーション」と考え、病棟内には自宅での生活を想定した畳ユニットという、上がり框・段差などの「バリア」をあえて設けています。



そのような環境の中で、日常生活の中での動作練習が繰り返し行えるようになっています。

場合によっては、退院後の復職や余暇活動等の練習もサポートさせていただきます。



ゴルフに必要なバランス練習



買物に必要な歩行練習

認知症病棟

【3病棟農園】 3病棟農園の経過報告です。

雨天の日を除き、ほぼ毎日、患者様と一緒に畑へ出向き、草ぬき・水遣りを実施しています。

患者様の頑張りもあり、無事に**キュウリ**や**トマト**、**ナス**、**ピーマン**の収穫を行うことができました。

患者様にとって3病棟農園が入院生活の楽しみとなっているようで、「次は大根を植えよう」「水が足りんから、もっとやらないかん」と患者様同士で話し合ったり、「畑行ったあとは疲れてよお眠れるわ。」など農園からは、いつも楽しい会話が聞こえてきます。



これから秋にかけて、サツマイモの収穫を予定しています。患者様からは「**焼き芋大会をしたい**」とのリクエストも聞かれており、熱中症に十分に注意しながら、活動性の向上の取り組みのひとつとして畑作業を続けていきたいと思っております。暑さやコロナウイルスに負けず、一緒にがんばりましょう！



通所リハビリテーションセンターはしもと

「運動習慣を身につけて日常生活能力を保とう！！」*第2弾*

個別リハビリと集団体操の他、自主練習での屋外散歩活動、小集団での運動指導を行っています。屋外散歩は、歩いた時間やスマートウォッチで歩数を測るなど具体的な数字を出すことにより、意欲の向上を図り、継続して効果が望めるように工夫しています。小集団での運動は、理学療法士、作業療法士が中心となり、利用者3~4名でセラバンドや重錘、エルゴメーターといった使いやすい道具を使用し、自分から行っていけることを目標として取り組み始めました。利用中の活動量が少しでも増え、運動習慣が身につくよう取り組んでいます。



施設の見学は随時受け付けております。お気軽にどうぞ。

〈お問い合わせ〉 TEL : 0875-63-3700 担当 : 西山寿美子

はしもと畑 *玉ねぎ収穫*



玉ねぎが収穫できました。畑作業は不整地移動、かがみ動作、手指の巧緻性、持久力、認知機能等、多くの面に良い働きかけをします。



訪問リハビリテーションセンターはしもと

訪問サービスを受ける方のそうだったのか！

感染症・熱中症対策

要介護者やご家族様が感染リスクを恐れて、訪問サービスの利用を控える場合があることを踏まえ、安心してサービスを受けられるよう、要介護者が訪問サービスを受ける際の感染対策と、今後の熱中症予防ポイントについて簡単にお伝えします。

＜感染予防対策＞

①いつ手を洗うのか？

目、鼻、口に手を運ぶ前には手を洗いましょう

②訪問サービスを受ける前に気を付ける事

検温、部屋の換気をする

③訪問サービスを受ける時

マスクの装着、手を洗う



マスクの着用

手洗い

④訪問してもらおうのが怖いと思ったら

心配であれば事業者に相談しましょう



うがい

＜熱中症予防対策＞

1 暑さを避けましょう

- ・エアコンを利用する等、部屋の温度を調整
- ・感染症予防のため、換気扇や窓開放によって換気を確保しつつ、エアコンの温度設定をこまめに調整
- ・暑い日や時間帯は無理をしない
- ・涼しい服装にする
- ・急に暑くなった日等は特に注意する



2 適宜マスクをはずしましょう



距離を十分にとる

- ・気温・湿度の高い中でのマスク着用は要注意
- ・屋外で人と十分な距離（2メートル以上）を確保できる場合には、マスクをはずす
- ・マスクを着用している時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、適宜マスクをはずして休憩を

3 こまめに水分補給しましょう



- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

4 日頃から健康管理をしましょう



- ・日頃から体温測定、健康チェック
- ・体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養

5 暑さに備えた体作りをしましょう



- ・暑くなり始めの時期から適度に運動を
- ・水分補給は忘れずに、無理のない範囲で
- ・「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度

ソーシャルワーカー部

近年、大規模自然災害が毎年のように発生しています。地震や集中豪雨等の災害の頻度も増えています。

突如として襲いかかる自然猛威は大切な人の命、自宅や財産等と多くの物を瞬く間に奪い去ります。被災地のニュースを見るにつけ心が痛む思いでいっぱいになります。災害はいつ自分自身にふりかかってくるか分からない恐怖もあります。

実際に大規模自然災害が発生した場合、どのような支援体制があるのかごく一部ですが紹介させていただきます。



● 被災者生活再建支援制度

損害状況に応じて生活必需品の購入、住宅の改修補修や賃貸住宅の家賃等の支払いに係る費用の支給がされます。

対象となる自然災害は、1市町村において10世帯以上全壊した災害等となります。

(単位：円)

● 医療・介護サービス

医療保険や介護保険の被保険者証を紛失した場合は、氏名を申し出るだけで受診や介護保険サービスの利用ができます。

住宅や家財等に1/2以上の損害が生じた方等の諸条件により一部負担金が免除されたり、保険料の納付期間を延長される場合があります。

区分	住宅再建方法	基礎支援金	加算支援金	合計
全壊	建設・購入	100万	200万	300万
解体	補修	100万	100万	200万
長期避難	賃貸	100万	50万	150万
大規模半壊	建設	50万	200万	250万
	補修	50万	100万	150万
	賃貸	50万	50万	100万

橋本病院指定居宅介護支援事業所

「災害への備えと対処」

最近増えているゲリラ豪雨や大型台風等、災害は地震以外にもたくさんあります。

「天災は忘れた頃にやってくる」とよく言われます。

だからこそ、日頃から災害に備えて準備をしておくことが大切です。



① 自宅の耐震診断や耐震対策を行きましょう。

② 避難場所、避難方法、緊急時連絡体制を家族や担当の介護支援専門員と確認しましょう。

③ 停電に備えましょう。

電気を使用しない毛布や寝袋、防寒衣類などの暖房手段、ラジオやライトなど用意しておきましょう。

④ 非常時持出袋を準備し、非常食、飲料水等、用意しておきましょう。

高齢者の方等は介護食、とろみ剤、栄養補助ゼリーなど用意しておきましょう。

⑤ 非常時持出袋に常備薬等、用意しておきましょう。

災害時にはかかりつけの医療機関まで受診できなかつたり、医療機関が機能しないことがあります。

特に糖尿病やパーキンソン病、心臓病などは服薬をとめることで急に症状が悪化することがありますので、現在使用している医療物品の予備、常備薬、お薬手帳、健康保険証等コピー、また感染予防の為、マスク、手指消毒等を用意しておきましょう。

⑥ 地域との関係づくり。

大きな災害の場合、行政の支援が間に合わないことも多くあり、隣近所、地域の支えが必要となります。日頃から地域の関係づくりをすすめ、いざという時に支援体制を整えておくことが大切です。

家族会

「家族会」とは、回復期リハビリテーション病棟に入院中の患者様のご家族様に対し、当院スタッフがテーマに沿った講演を行い、退院後の不安や心配事を入院中に少しでも解消していただくための会です。

主に、看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士で担当し、年に4回程度実施しております。

脳卒中や骨折などを発症し、入院をしてリハビリを行い晴れて退院された後、ご家族様はどのようにして介助をすれば良いか、転んだりしないか、食事で困ったりしないか・・・など、不安は尽きないと思います。そのような気持ちを少しでも和らげるようサポートさせていただいております。

例年であれば、6月に理学療法士による家族会を予定しておりましたが、今年は新型コロナウイルス感染症対策のためにやむなく中止となってしまいました。

2019年度に開催した家族会の内容です。

看護師担当 「薬の作用と効くしくみ」

理学療法士担当 「これからの生活を考える」

作業療法士担当 「これからの自宅生活を考え不安を解消」

言語聴覚士担当 「食事についての不安を解消しよう！」



新しい生活様式の中、時期を見てまた再開したいと考えておりますが、実施はいつになるか未定です。そのため、パンフレット等の紙面や映像をご家族様に提供する等の新しい取り組みも検討中です。その際には是非とも参考になさってください。



新人研修

和風会合同新人セラピスト合宿研修

当院では、例年春に和風会 橋本病院、千里リハビリテーション病院合同で合宿形式での新人研修を行っています。

今年も4月20日～22日の2泊3日で、今年度新たに入職した理学療法士4名、作業療法士4名、言語聴覚士1名の合計9名が徳島県にて実施予定でした。しかし直前で新型コロナウイルス感染症対策のためやむなく中止という事になってしまいました。

例年の研修では、昼は橋本理事長からの講義、新人同士での症例検討やグループワークを行い、社会人・医療人として、また和風会の一員となるための心得等を勉強していました。また夜は、両病院の参加職員同士がグループに分かれて宿泊し、同じ法人内の職員同士で寝食を共にしながら、親交を深めるなど、非常に有意義な時間となっております。今年の新入職員もこの3日間を楽しみにしておりましたが、中止となりとても残念に感じております。



開催予定であった「四国三郎の郷」



今年度は橋本理事長からの直接の講義を受けることができなかったため、3密を避けた中オンライン講義を6月に実施しました。

画面を通してですが、橋本理事長から直接講義を受け、マンツーマンで話す時間もあり、新型コロナウイルス感染症対策中ならではの心に残る良い研修となりました。

新入職者が一日も早く職場に慣れ、互いに切磋琢磨しながら患者様のために全力が注げるよう期待しています。



ふれあい看護体験

当院では『ふれあい看護体験』を毎年開催しています。

『ふれあい看護体験』とは、中学生や高校生等が病院や施設で見学や簡単な看護体験、関係者との交流を行うイベントです。全国で実施されており、学生等が医療・看護・介護関係者と一緒にこれからの保険医療福祉について考えたり、実施施設によっては地域とのコミュニケーションや情報提供の、貴重なきっかけとなっています。

当院では、三豊中学校・和光中学校・笠田高等学校等の生徒さんが参加し、バイタル測定の見学、車椅子体験、また病棟で患者様とのふれあい等の看護の仕事を体験しています。毎年参加した生徒さんからは、「たくさんの事が学べ、貴重な経験ができた」「今回の体験を経て看護師になろうと思う」「自分の将来像をリアルに感じて、今後さらに気合いを入れて頑張れそう」などの感想が聞かれています。

今年も開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のためやむなく中止とさせていただきます。

過去の看護体験の様子



将来の目標の選択肢の1つとして、この『ふれあい看護体験』がお役に立てるよう、今後も継続して開催を考えております。



5月12日は「看護の日」



21世紀の高齢化社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を広く国民が分かち合うことが必要です。このことを老若男女を問わずだれでも認識するきっかけとなるように「看護の日」が制定されました。

<5月12日の由来>

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。1965年から、国際看護師協会（本部：ジュネーブ）は、この日を「国際看護師の日」に定めています。今年（2020年）はナイチンゲール生誕200年の年となります。



こころの健康展

あなたは心の健康に自信がありますか？

「こころの健康展」は一人ひとりが心の健康について関心を持ち、心の病のある人々への理解と温かい支援をいただけるように、香川県と香川県精神保健福祉協会が主催し毎年開催しています。

今年も6月12日（金）13日（土）の2日間でイオンモール高松で開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症防止対策のため中止となりました。

こころの健康展も昨年は40回目の開催となり、42団体（病院 14、クリニック 2、障害福祉サービス事業所 20、保健所等 6、協力団体 2）の参加がありました。

精神障害者作成の手工芸、陶芸などの作品展示コーナーや心の健康に関するもの、障害福祉サービス事業所紹介のパネル展示、手工芸品やお菓子などの即売コーナー、クイズラリー等、皆様に楽しんでいただきながら心の病を正しく理解してもらえよう活動しています。



地域連携室

2013年12月1日から行っている**事前訪問**（当院転院前に患者様が入院されている病院へ訪問し、心身状態の把握や入院についての説明等を実施）の2020年3月～4月の回復期リハ病棟の実績を紹介します。

- 1ヶ月の訪問件数：3月【40件】、4月【29件】
- 入院されている病院から紹介状が届いて訪問するまでの平均日数：3月【5.3日】、4月【6.0日】
- 紹介状が届いて当院へ転院されるまでの平均日数：3月【21.4日】、4月【15.0日】

※事前訪問後、当院へ転院されるまでの平均日数は16.1日です。**大変お待たせして申し訳ございません。**

対象となる方

1. 脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷の発症又は手術後、義肢装着訓練を要する状態。
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、重度の頸随損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷の発症。
2. 多肢の骨折、大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折もしくは手術後。
3. 外科的手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後または発症後。
4. 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は関節の神経、筋又は靭帯損傷後。
5. 股関節又は膝関節の置換術後。



リハビリは 365日、1日3時間

提供させていただきます。
また、多職種によるチーム医療で、早期に退院できるように取り組んでいます。

入院相談はお気軽にご連絡ください！

橋本病院 地域連携部

窓口：大西 宏美

電話：0875-63-3552（直通）
0875-63-3311（代表）



認知症治療病棟への入院相談もお伺いしております。お気軽にご連絡ください。



移動も安心のサービス

転院の際の無料送迎をしております。ご希望の方はお気軽にお申し出ください。

防火防災委員会

防災訓練

当院では、年2回の防火訓練と年1回の南海トラフ地震を想定した患者様の受入方法についての防災訓練を実施しています。

昨年度の訓練では、模擬患者を想定する事により、有事の際の避難経路の確認、職員の対応、非常用物品の確認をしました。毎回の訓練後に、参加した職員から寄せられる意見を参考にし、今後も充実した訓練を行う事を目指しております。



近年、新型コロナウイルスに加え各地で地震も多発しており、いつ災害の当事者になってもおかしくない状況が続いています。近隣の住民の方に重大な被害が及んだ場合に、いかに迅速に対応が出来るのか等、スタッフの1人1人が防火・防災への意識を高めるとともに備えを充実させ、今後も取り組んでいきたいと思っています。



院内感染防止対策委員会

感染拡大防止に関する取り組みについて

入院患者様には、ご高齢の方や様々な疾病をお持ちの方が多く、感染症に罹患されると重症化が懸念されます。

当院では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために、3つの密の防止、飛沫感染、接触感染の防止など様々な取り組みを行っています。

ご家族の皆様にはご不便をお掛けいたしますが、職員一丸となって感染防止対策に努めておりますので、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

来院の方、入院患者様、ご家族様 面会を希望される皆様へのお願い

- ① 患者様、職員、面会・訪問の方、院内に入られる方すべての皆様にマスク装着の徹底と手指消毒の徹底、検温、体調、感染症患者様との接触などチェックを行っています。
- ② ドアや窓の開放による換気の徹底を行っています。
- ③ 面会は面会可能時間を13時～19時とさせていただきます、面会可能の方の少人数、短時間での面会制限の対応を行っています。



学会発表

当院では自己研鑽、情報発信、情報収集を目的に積極的かつ自主的に学会や研究会、勉強会での発表を行っています。現在は新型コロナウイルスの影響で学会等は中止や延期を余儀なくされていますが、毎年約15の学会、研究会、勉強会に対して40題前後の発表をしています。職種別では、スタッフ数が多いこともあり、理学療法士が約20題と一番多いです。他に作業療法士、言語聴覚士、看護師等も毎年欠かさず数題は発表しています。

特に力を入れている慢性期リハビリテーション学会は、当院の理事長である橋本康子が会長を務めていることもあり、毎年6題以上は発表しています。その功績が認められ、学会の母体となる日本慢性期医療協会より、昨年度に引き続き『研修参加優秀施設 銅賞』をいただきました。

今後も発表の経験を通して、地域医療の貢献につながる取り組みを発信していきたいと思っております。



職員募集のお知らせ

募集

准看護師
介護福祉士・介護職
※ 常勤で働ける方



まずは、病院見学にお越し下さい！
給与等詳細は、当院ホームページでも閲覧できます。
<http://www.wafukai-hashimoto.jp>
TEL 0875-63-3311 (人事担当：安藤)

医療法人社団和風会 橋本病院
〒768-0103

香川県三豊市山本町財田西902番地1

TEL：0875-63-3311

FAX：0875-63-2651

入院相談直通電話：0875-63-3552

E-mail：hashimoto-hp@wafukai-hashimoto.jp

HP：http://www.wafukai-hashimoto.jp

発行元：橋本病院 広報委員会

医 回復期リハビリテーション病棟 89床
療 認知症治療病棟 67床

介
護

橋本病院指定居宅介護支援事業所
通所リハビリテーションセンターはしもと
訪問リハビリテーションセンターはしもと

